



## 775トンの震動台を据付

兵庫県三木市に建設中の実大三次元震動破壊実験施設（E - ディフェンス）震動台の据付作業を5月19日（水）に行い、報道関係20社、兵庫県、三木市などの建設にあたってご協力いただいている関係者約30人の方々に公開しました。

E - ディフェンスの主要部分は、実際の地震と同じ三次元で複雑に揺れる長さ20m×幅15m×高さ5.5m、重さ775トンある世界最大の震動台です。この震動台を400トンクレーン2基で吊り上げ、1時間かけてピットに据え付けました。



震動台据付状況

機械装置類の工事はこれが最終段階となり、これからは試験運転・調整を経て、来春の完成を目指します。完成後は、6階建て鉄筋コンクリートビルの耐震実験などが計画されています。

## 第3回成果発表会

—150人を越える参加—

今年で3回目となる成果発表会を5月25日（火）につくばの研究交流棟で行いました。今回も、第1回第2回と同様に150人を越える参加があり、盛況に終わりました。講演5件、ポスター発表20件を行い、最新の研究成果を参加した方々に説明しました。特に、講演に関しては全体的に好評で、『雪崩の悲劇をなくすために』は「わかりやすく雪崩の性質、危険性を理解できた」、『防災研究の革新 - E q T A P 国際プロジェクト - 』は「途上国への防災技術移転の有力なモデルとな



ポスター発表

講演の様子



り得るもので印象的だった」というようなご意見を多数いただきました。

講演要旨、発表ポスターはホームページからご覧いただけます。

<http://www.bosai.go.jp/>